

小松教育事務所管内 タウンミーティング

ともに育もう豊かな心を in 南加賀
— 今、育てたい心について考える —



社会の急速な変化により、今「心の教育」の充実が求められています。
そこで、今回は、社会全体で道德教育を推進し、子どもたちに人と人とのかかわりの中で生まれる感動を重視した教育を行うことについて、共に考える機会としたいと思い、上記のテーマでタウンミーティングを開催致しました。

.....当日のプログラム.....

◇ 開会挨拶 13:30~13:40

石川県教育委員会 小松教育事務所 所長 崎山 由樹夫

◇ 報 告 13:40~14:05

家庭や地域社会と連携した道德教育の在り方

小松教育事務所 指導主事 川村 聡子

◇ 実践発表 14:10~14:30

自己を見つめ、互いに認め合い 共によりよく生きる子の育成 ~道德教育を通して~

川北町立橘小学校

◇ 講 演 14:45~16:00

「家庭と学校をつなげる道德教育」

筑波大附属小学校教諭 淑徳大学講師 加藤 宣行 氏

◇ 閉 会 16:00~16:10



11月3日（土）午後、小松市第一地区コミュニティセンターにおいて、小松教育事務所管内の学校・家庭・地域の方々約200名が集い、実践報告や講演を通して子どもたちの豊かな心を育むふれあいのある教育について、ともに考えました。

◇報告 **家庭や地域社会と連携した 道徳教育の在り方**

小松教育事務所 川村聡子 指導主事が、

- 1 社会の変化と子どもたちの傾向
- 2 学習指導要領の求める道徳教育
- 3 「いしかわ道徳教育推進事業」の取り組み

等について報告し、学校が家庭や地域社会と連携して行う道徳教育の在り方について考えました。



◇実践発表 **自己を見つめ、互いに認め合い 共によりよく生きる子の育成 ～道徳教育を通して～**

川北町立橋小学校より、今年度「道徳教育推進拠点校」として実践されている

- 1 道徳の授業の充実
- 2 豊かな体験活動の工夫
- 3 保護者・地域との連携

等についての発表を通して、豊かな心を育むための学校として役割についてともに考えました。



◇講演 **「家庭と学校をつなげる道徳教育」**

筑波大附属小学校教諭 淑徳大学講師 加藤 宣行 氏より、家庭や保護者の連携のもと、道徳教育で育む子どもの豊かな心についてお話していただきました。



★参加者からの意見・感想

○道徳教育の大切さ、また難しさを改めて考える機会となりました。地域・家庭・学校が協力し合って徳育に取り組んでいかなければならないと思いました。
(保護者)

○橋小学校の実践から、授業改善や家庭地域との連携をしっかりと進められていることが分かり、大変参考になりました。
(教諭)

○加藤先生のお話で、道徳教育の目指すところは「魅力的な人間を育てること」であると。私たち保護者も魅力ある人間になれるように努力しなくてはいけないと思いました。
(保護者)

○加藤先生のお話を聞き、子どもたちの生きる力があふれ出るような道徳の授業をしたい、という気持ちになりました。
(教諭)